

## 大村警察署協議会第2回会議議事概要

|       |   |
|-------|---|
| 日 時   | 平成31年4月25日(木) 13時27分～15時31分   |
| 場 所   | 大村警察署訓授室  |
| 出 席 者 | <p>1 協議会<br/>西畑会長 佐藤委員 井手委員 岡野委員 坂田委員 田中委員</p> <p>2 警察署<br/>小松署長 松永副署長 富永警務課長 新田生活安全課長<br/>山中交通課長 野田地域課長</p> <p>3 書記<br/>警務係長</p>   |
| 会議の状況 | <p>1 前回会議での協議会の意見に対する推進状況について<br/>署長から、前回協議会の提出意見である「交通マナーアップへの積極的な取組について」に対する推進状況について、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 交通講話の実施<br/>交通マナー向上のため、1月から3月までの期間中に2,217人に対して交通講話を31回実施した。</p> <p>(2) 広報活動の推進<br/>地元FMラジオ、ミニ広報紙などを活用した広報活動を推進した。</p> <p>(3) 交通事故を抑止するための交通指導取締り<br/>平成30年中の交通事故を分析した結果、交差点及び交差点周辺での交通事故が全事故の約半数を占めており、交差点、特に信号機のない横断歩道における交通マナーを向上させるため、横断歩行者妨害違反の取締りを強化した。</p> <p>2 平成31年1月から3月までの業務重点推進結果について<br/>署長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 生活安全課関係<br/>ア 犯罪抑止対策の推進<br/>イ 少年非行防止・犯罪被害防止対策の推進</p> <p>(2) 地域課関係<br/>ア 110番通報の適正な利用促進の広報活動<br/>イ 巡回連絡による管内実態把握活動の推進<br/>ウ 交番等安全対策の推進</p> <p>(3) 刑事課関係<br/>ア 各種犯罪の検挙推進<br/>イ 暴力団排除活動の推進</p> <p>(4) 交通課関係<br/>ア 自転車に関連する交通事故防止対策の推進</p> |

- イ 高齢運転者対策
- ウ 信号機のない横断歩道における歩行者妨害違反の取締り
- エ 飲酒運転根絶対策

(5) 警備課関係

- ア テロ対策の推進
- イ 大規模自然災害等緊急事態への的確な対処

3 業務重点推進計画について

署長から、次のとおり説明があった。

(1) 生活安全課関係

- ア 各種犯罪抑止対策の推進
- イ 新学期における少年非行防止・犯罪被害防止対策の推進

(2) 地域課関係

春の行楽期における山岳遭難事案防止対策の推進

(3) 刑事課関係

- ア 各種犯罪の検挙推進
- イ 暴力団排除活動の推進

(4) 交通課関係

- ア 自転車に関連する交通事故防止対策の推進
- イ 高齢者が関係する交通事故抑止対策の推進
- ウ 交通事故抑止に資する交通指導取締りの推進
- エ 飲酒運転根絶対策

(5) 警備課関係

- ア テロ対策の推進
- イ 大規模自然災害等緊急事態への的確な対処

4 諮問テーマに対する答申について

署長から、協議会に対して諮問があり、協議会から次のとおり答申があった。

(1) 諮問テーマ

警察署協議会委員を務めて感じたことについて

(2) 協議会からの答申

西畑会長から協議会委員に対し、次のとおり署長への答申内容について確認があり、全会一致で了承された。

ア 外部から見た感じが違っていた。警察の活動を知った上で感じることは、もう少し市民にアピールできるようにしてほしい。

イ 正義の味方の「おまわりさん」であってほしい。

ウ 警察を身近に感じられ、一所懸命に仕事していることを市民にアピールしたいと思うとともに、警察からアピールしてもいいのではないかと。

エ 警察に対して悪い感情しかなかったが、要望等に真摯に対処してもらった。

オ もっと委員の意見を上部に上げてほしい。

5 諮問テーマの設定について

署長から、協議会に対して次のとおり諮問テーマが設定され、次回会議において答申されることとなった。

(1) 諮問テーマ

|                |  |
|----------------|--|
|                | <p>自転車利用者のマナーアップ方策について</p> <p>(2) 設定理由</p> <p>大村市内では、県下でワーストの自転車事故が発生しており、これまで、自動車運転手側から見た方策について検討し、指導取締りを実施してきた。</p> <p>今回、自転車を利用する側から見た、効果的な事故防止に資する安全講話やキャンペーンを通じて自転車利用者のマナーアップを図るなど、自転車の交通事故防止に努めるため</p> |
| <p>提 出 意 見</p> | <p>○ 青少年に対する薬物乱用防止についての啓蒙と取締りの強化について</p> <p>今年に入り、長崎市において高校生による薬物（大麻）使用がニュースになるなど、大都会だけの事案ではないことが分かった。</p> <p>この大村市内で薬物の使用が広まらないように啓蒙と取締りを実施してもらいたい。</p>   |